

戦国時代に繋がる「武家政権」の意外な真実

戦国前夜の 日本史

History of Japan
on the eve of the warring states period

c o n t e n t s

4	ビジュアルで見る戦国前夜	62	第3章 室町歴代将軍とその治世 足利将軍 15代
10	応仁の乱勃発の 社会的背景		軍事貴族として征夷大将軍職を代々継承した足利家。武家政権として日本を統治し、足利義満の代には太政大臣の位を得て、公家社会の頂も手中にした。一方で、政権後期には機能を喪失したため、結果的に下剋上を発生させることになる。
14	第1章 武家政権とは？ 鎌倉時代の新常識	74	第4章 よくわかる 応仁の乱の真実
	平清盛の台頭と源頼朝による武家政権の樹立。歴史の表舞台に出てきた「武士」という存在は、日本をどのように改造していったのか？その過程に出てくる混乱と戦。まだ未成熟だった武家政権は、浮き沈み雨を繰り返しながら多くの血を欲していく。		「応仁の乱」はなぜかわりにくいのか？ 敵が味方になったり、それに便乗して戦に参加したり、何のために戦い、勝者は誰だったのか？ 畠山氏の御家争いをきっかけに（利用して?）、全国規模の「不満のタネ」を爆発させた11年間を辿る。
16	Interview 井沢元彦	76	Interview 黒田基樹
	そもそも「武士」とはどのような人間たちだったのか？		室町幕府の体制と当時の社会的な背景戦乱の世はなぜ訪れたか？
22	第2代鎌倉幕府将軍を 3ヶ月でお飾りにした 十三人の合議制	48	そもそもは兄弟喧嘩から 始まった 南北朝動乱のタネ
24	鎌倉時代初期 すべての政変に関わっていた 暗殺一家北条氏	50	後醍醐天皇の野望 鎌倉幕府に不満タラタラ
26	武家社会を 劇的に変えた執権 革命家・北条泰時を知る	52	幕府に冷遇された御家人と 体制の外にいた武士 後醍醐天皇の人脈
30	織田信長と 北条泰時の「革命」比較	54	アベノミクスより 早く終わった建武の新政
32	得宗専制、蒙古襲来 内外に問題山積み 鎌倉幕府滅亡へ	56	足利尊氏激戦地図
34	蒙古報復も企図した イケイケの北条時宗	58	稀代のカリスマ 足利尊氏と ライバルたち
36	不安を抱いた庶民たちに 受け入れられた鎌倉仏教	60	南朝武将敗者の死に場
38	第2章 「正義」は何処に？ 南北朝の動乱	100	第5章 地方勢力の国盗りが始まる 戦国前夜
	「約束」という言葉を歴史にあてがうのは難しいが、この時代はことごとく「約束」を反故にする人物が登場する。後醍醐天皇を中心に、「七生報国」の楠木一族、そして内紛、謀略、裏切りで混乱する足利一族もそうである。「私的紛乱の連続」の時代だったとの見方もある。		守護公権と大名領国制により、半ば独立した地域国家とが日本に乱立した。最初の戦国大名と呼ばれる北条早雲以後、多くの「戦国大名」が登場し、領地拡大を図っていった。室町幕府は形骸化していくことになる。
40	Interview 呉座勇一	102	落日の室町幕府が 失地回復を企図 六角攻め敢行
	建武新政はいかにして瓦解し室町体制の亀裂はどこに始まったか？	104	乱発される下剋上
103		110	すでに「天下布武」を 達成していた織田信長
		106	近年の研究で明らかになる 戦国下剋上の実態 「梟雄」と「蝮」の実像
		112	京都を追われた足利義昭は 毛利家の勢力圏・鞆の地へ 頼幕府とは？